

Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.1 による Cisco 841M J シリーズ初期設定ガイド

—— 初期設定ガイド (WAN/LAN)

—— アプリケーション ファイアウォール設定ガイド



目次

———— Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.1 のご紹介	p3
———— CCP Express 3.1 初期設定ガイド (WAN/LAN)	p4
Cisco Configuration Professional Express (以下、CCP Express) 3.1 を利用して、 工場出荷状態の Cisco 841M J ルータの初期設定を行う手順を紹介します。	
CCP Express 3.1 GUI アクセス	p4
WAN の設定	p9
LAN の設定	p14
———— CCP Express 3.1 アプリケーション ファイアウォール設定ガイド	p18
Cisco 841M J ルータの機能を利用して、ネットワーク上のトラフィックを CCP Express 3.1 の GUI で確認する手順を紹介します。	
ゾーンの設定	p18
アプリケーション ファイアウォールの設定	p21
アプリケーションの利用状況を確認	p22

Cisco Configuration Professional (CCP) Express 3.1 のご紹介

日本語 GUI で簡単に初期設定や設定の変更が行えます。

【設定項目例】

- WAN インターフェイス
- VLAN
- スタティック ルート
- DHCP 設定 など



対応 Cisco IOS バージョン：

15.5 (3) M 以降

対応ブラウザ

Mozilla Firefox 10 以上

Google Chrome 17 以上 Microsoft Internet Explorer 10 以上

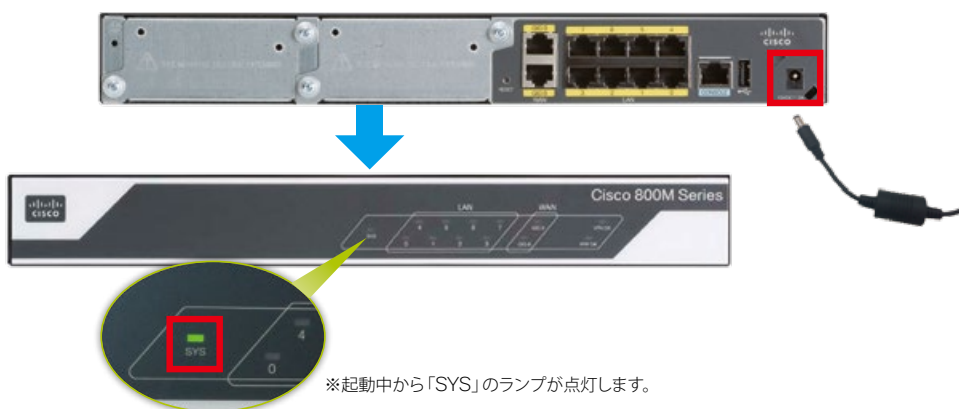
CCP Express 3.1

初期設定ガイド

1 CCP Express の GUI へアクセス

ステップ 1 電源を入れます

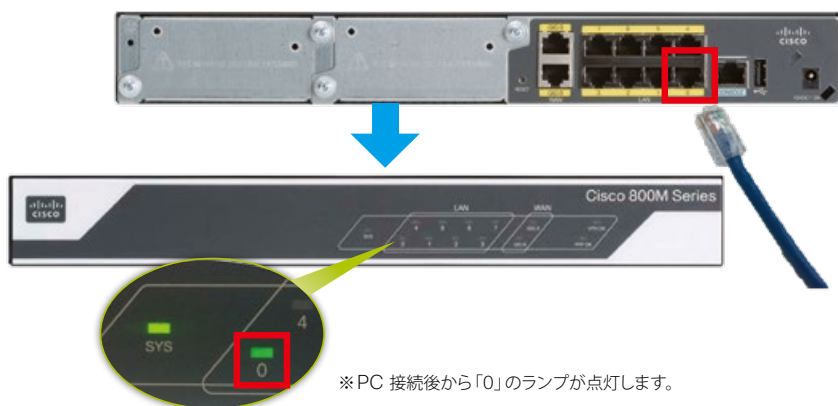
同梱の電源ケーブルを Cisco C841M ルータの電源ポートに接続します。
約 2 分程度でルータが起動します。



ステップ 2 PC をルータに接続します

PC と Cisco C841M ルータの Gig0/0 ポートを LAN ケーブルで接続します。
約 1 分 30 秒程度で PC がアドレスを取得します。

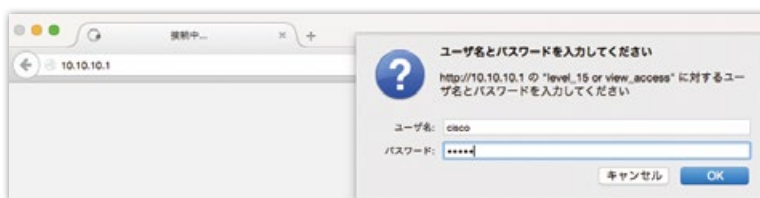
※例として Gig0/0 ポートを利用しています。LAN インターフェイスはどこに接続しても構いません。
※LAN ケーブルは別途ご準備ください。



ステップ
3

新規ユーザを作成します

PC の Web ブラウザを起動して **10.10.10.1** へアクセスします。



ログイン画面では、ユーザ名/パスワードを **cisco/cisco** と入力します。
※ cisco/cisco の設定は初回限り有効です。

新規ユーザの作成画面が表示されたら、新規ユーザ名とパスワードを入力します。

※ここで作成しないと、ルータの初期化が必要になります。

(ルータの初期化については、www.cisco.com/jp/go/c800m 設定ページに掲載している「リカバリガイド」を参照してください)



ステップ
4

CCP Express 3.1 にログインします

再度、ユーザ名/パスワードの入力画面が表示されるので、新規作成したユーザ名とパスワードを入力します。これで CCP Express 3.1 へアクセスできるようになりました。



アクセス準備
完了!

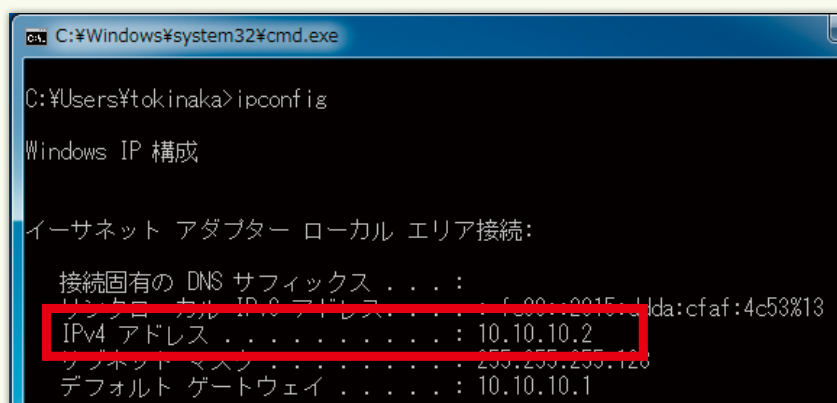
トラブルシューティング

GUI へアクセスできない場合は、こちらの手順をご確認ください。

Windows 7 編

1 PC がアドレス取得できているかを確認します

- ・「スタート」ボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」ウィンドウに「cmd」と入力して Enter キーを押します。
- ・コマンド プロンプトが表示されたら「ipconfig」と入力して Enter キーを押します。
- ・IPv4 アドレスが **10.10.10.x** となっているか確認します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe

C:\Users\Ytokinaka>ipconfig

Windows IP 構成

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

    接続固有の DNS サフィックス . . . : 
    ローカル IP アドレス . . . . . : f800:12015::1da:cfa:4c53%13
    IPv4 アドレス . . . . . : 10.10.10.2
    サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.128
    デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 10.10.10.1
```

→ っていない場合は「2」へ進んでください。 → っている場合は「3」へ進んでください。

2 PC がアドレス取得できているかを確認します

- ・「スタート」ボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」ウィンドウに「ネットワークと共有センター」と入力して Enter キーを押します。
- ・「アダプターの設定の変更」を選択します。
- ・「ローカル エリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。
- ・「インターネット プロトコル バージョン 4」を選択し、続いて「プロパティ」を選択します。
- ・「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されているか確認します。
→ 自動取得になっていない場合、「自動取得」にします。

3 アドレスが正常に取得できている場合

- ・ご利用の Web ブラウザがサポートされているものか確認してください (p3を参照)。

動作上の不具合がある場合は、
下記リンクの「サポート」タブよりお問い合わせください。

<http://cisco.com/jp/go/c800m>

設定済の 10.10.10.1 のアドレスを変更すると、
CCP Express から設定を変更できなくなるので注意してください。

OS X 編

1 PC がアドレス取得できているか確認します

アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。



「システム環境設定」パネルの「ネットワーク」を選択し、有線接続の項目を選択します。



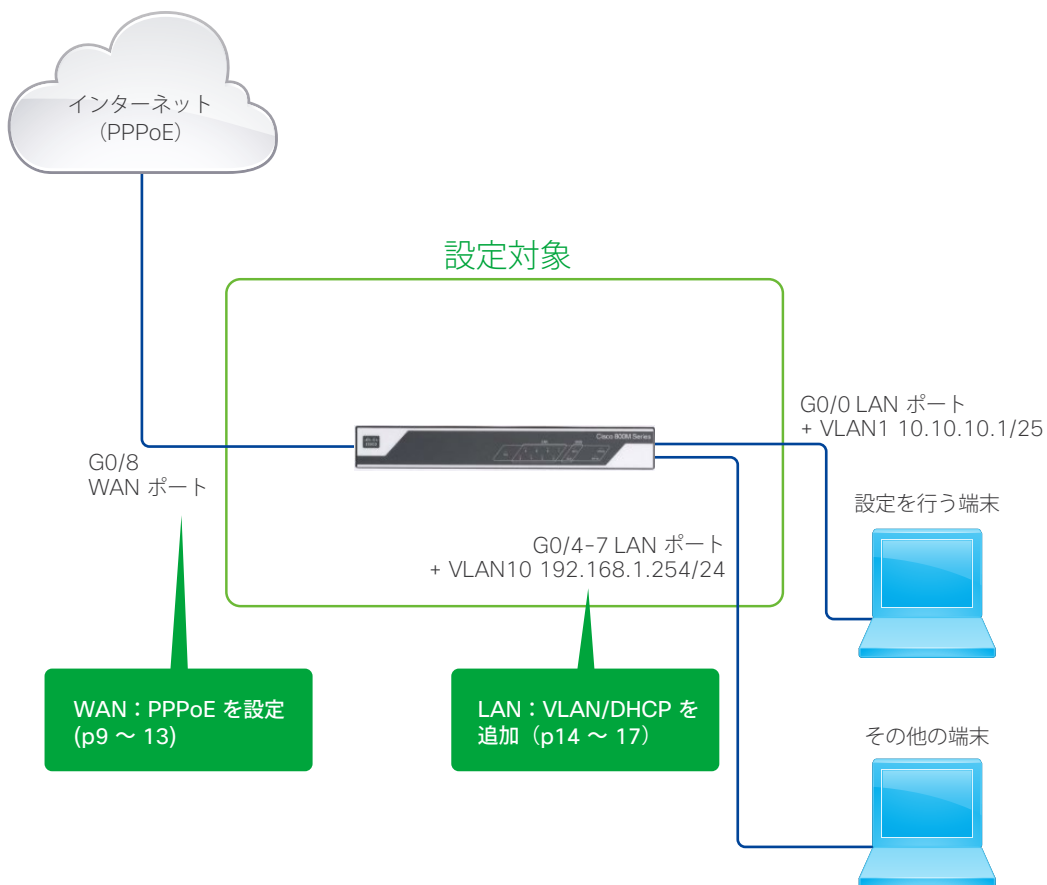
「IPv4 の設定」が「DHCP サーバを使用」となっていることと、IP アドレスが **10.10.10.x** となっていることを確認します。

アドレスが正常に取得できている場合は、ご利用の Web ブラウザがサポートされているものか確認してください (p3 を参照)。



2 WAN/LAN の設定

下図で示したサンプル構成で、工場出荷状態の Cisco C841M ルータを CCP Express 3.1 で設定する手順をご紹介します。

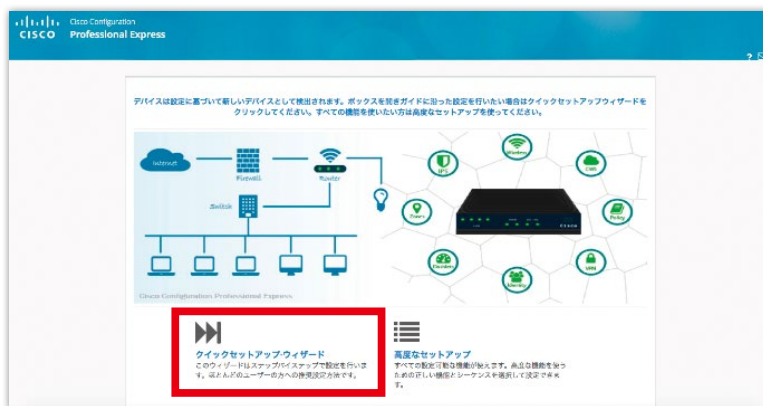


2-1 WAN の設定

ステップ
1

クイック セットアップ ウィザードを始めます

CCP Express 3.1 のトップページから、「クイック セットアップ ウィザード」を選択します。



クイック セットアップ ウィザード画面の「始める」をクリックします。

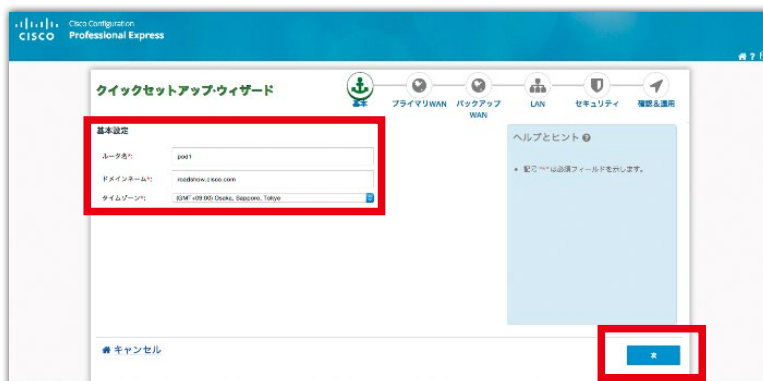


ステップ
2

機器情報を設定します

ルータ名/ドメイン ネーム/タイム ゾーンを設定して、「次」をクリックします。

※ドメイン ネームは必須項目です。指定のドメイン ネームがない場合は、架空のドメイン ネームを入力します。

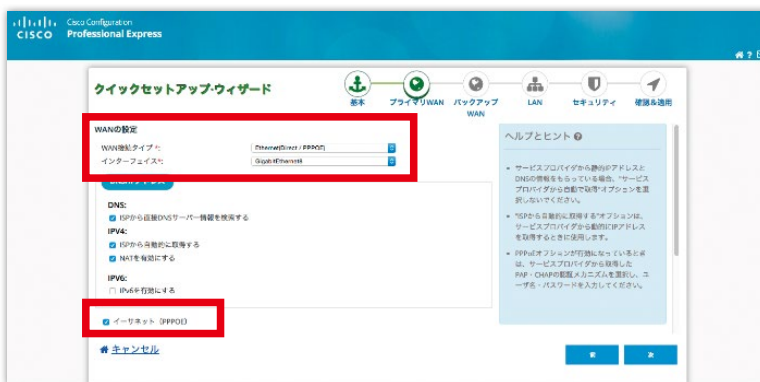


2-1 WAN の設定

ステップ
3

接続タイプを選択します

WAN 接続タイプは「Ethernet (Direct/PPPoE)」を選択します。
※ DHCP を利用する場合は p13 を参照



ステップ
4

詳細設定を行います

「詳細設定」を表示させて、プロバイダから提供された PPPoE 認証情報や MTU サイズを入力し、「次」をクリックします。



ステップ
5

バックアップ WAN の設定を確認します

バックアップ WAN がない場合は、これらの設定は不要です。
「次」をクリックします。



ステップ
6

DHCP の設定を確認します

デフォルトで設定されている DHCP の設定を確認できます。「次」をクリックします。
※ DHCP は、変更画面で設定を変えることができます (p13 を参照)。



ステップ
7

ファイアウォール機能の設定を確認します

ルータのファイアウォール機能を使用しない場合は、こちらの設定は不要です。
「次」をクリックします。



ステップ
8

一連の設定内容を確認します

クイック セットアップ ウィザードで設定した情報を確認できます。
「設定」をクリックします。



2-1 WAN の設定

ステップ
9

設定を適用します

設定を適用するか確認を促す「Alert」画面がポップアップ表示します。「はい」をクリックします。



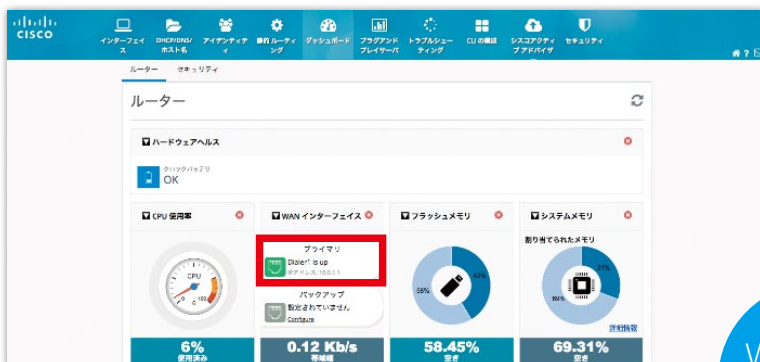
設定投入後に、設定完了の画面が表示されます。



ステップ
10

WAN 接続状態を確認します

リダイレクトされたダッシュボードから WAN インターフェイスの状態を確認できます。IP アドレスが取得できていれば設定は完了です。これでインターネットへのアクセスを利用可能になりました。

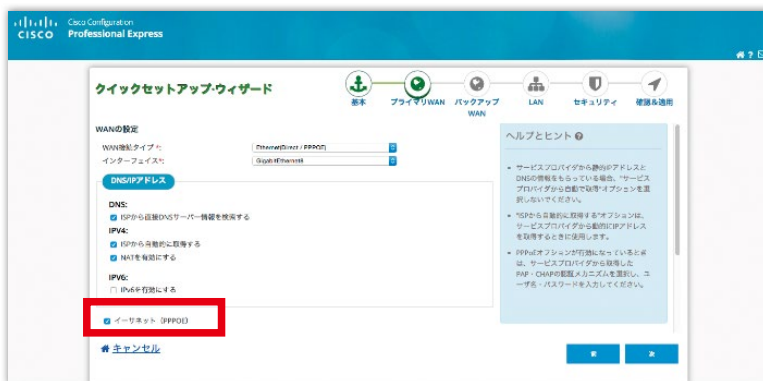


WAN 設定
完了！

DHCP の設定例

ブロードバンド回線で DHCP 方式を利用する場合の具体的な設定手順は次のようになります。

クイック セットアップ ウィザードの設定で「イーサネット (PPPoE)」のチェックを外してください。



以下のように DHCP の設定を行ってください。

1 「静的ルーティング」を選択します。



2 以下の設定を選択して、次のように編集します。

プレフィックス : 0.0.0.0

プレフィックス マスク : 0.0.0.0

IP/インターフェイス : GigabitEthernet0/4※

※実際に WAN 接続するインターフェイスを選択してください。

3 ネクストホップ IP の「DHCP」にチェックして、「はい」を選択します。



2-2 LAN の設定

VLAN の設定例

ここでは LAN ポートのうち、Gig0/4-7 ポート の設定変更を例に紹介します。
初期状態ではすべての LAN ポートが VLAN1 (デフォルト) の設定となります。

※ CCP Express との接続のため、管理 PC を接続しているポートは VLAN1 から変更しないようにします。

※ VLAN が必要ない場合はこの設定はスキップできます。

→p18 アプリケーション ファイアウォール設定へ進みます。



ステップ
1

インターフェイス画面へアクセスします

CCP Express 3.1 のトップ画面から、インターフェイス設定画面へアクセスします。

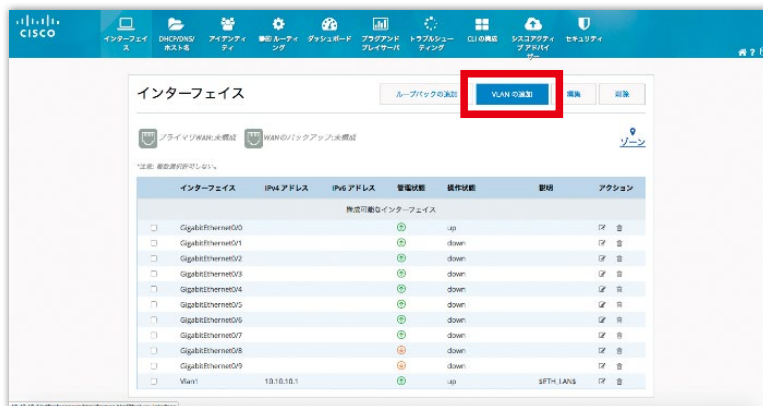


ステップ
2

VLAN を追加します

「VLAN の追加」をクリックします。

※ CCP Express との接続のため、管理 PC を接続しているポートは VLAN1 から変更しないようにします。



The screenshot shows the 'VLAN の追加' (Add VLAN) dialog box. The 'VLAN ID' is set to 5. The 'ポートの関連付け' (Port Association) section shows the following ports selected:

- GigabitEthernet0/3
- GigabitEthernet0/4
- GigabitEthernet0/5
- GigabitEthernet0/6
- GigabitEthernet0/7

The 'IPv4 アドレス' and 'IPv6 アドレス' sections are empty.

ステップ
3

ポートを設定します

リダイレクトされたダッシュボードから WAN インターフェイスの状態を確認できます。ここでは「VLAN5」を作成し、「Gig0/4-7」を VLAN5 のポートにします。

The screenshot shows the 'VLAN の追加' (Add VLAN) dialog box. The 'VLAN ID' is set to 5. The 'ポートの関連付け' (Port Association) section shows the following ports selected:

- GigabitEthernet0/3
- GigabitEthernet0/4
- GigabitEthernet0/5
- GigabitEthernet0/6
- GigabitEthernet0/7

The 'IPv4 アドレス' and 'IPv6 アドレス' sections are empty.

2-2 LAN の設定

ステップ
4

アドレスを設定します

VLAN5 の仮想アドレスを 192.168.1.254/24 と設定し、「はい」をクリックします。

※インターネット アクセスが必要な場合は「NAT の有効化」のチェック ボックスをオンにします。

VLAN の追加

VLAN

IPv4 アドレス

タイプ: 静的IPアドレス

静的IPアドレス: 192.168.1.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

NATの有効化: ☒

IPv6 アドレス

はい キャンセル

ステップ
5

VLAN 設定を確認します

今回作成した VLAN5 が反映されていることを確認します。

インターフェイス

ループバックの追加 VLANの追加 編集 削除

デザインVLAN:未構成 VLANのバックアップ:未構成

この表: 全表を絞り込む

インターフェイス	IPv4 アドレス	IPv6 アドレス	管理状態	操作状態	識別	アクション
構成可能なインターフェイス						
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet0			up	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet1			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet2			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet3			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet4			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet5			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet6			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet7			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet8			down	down	?	?
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet9			down	down	?	?
Vlan5	192.168.1.254		down	down	192.168.1.254	?

VLAN 設定
完了!

DHCP の設定例 (オプション)

ここでは別の DHCP グループを作成する手順を例に紹介します。

※工場出荷状態では 10.10.10.0/25 のアドレスが VLAN1 で配布される DHCP の設定になっています。

ステップ
1

DHCP 設定画面へアクセスします

「DHCP/DNS/ホスト名」を選択します。DHCPの項目で「追加」をクリックします。

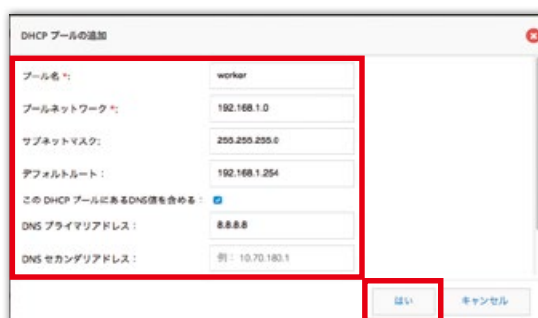
※ CLI で設定変更を行わない場合、CCP Express 3.1 の接続のため、ccp_pool の設定は変更しないでください。



ステップ
2

DHCP グループを作成します

DHCP プールに必要な項目を記入し、「はい」をクリックします。

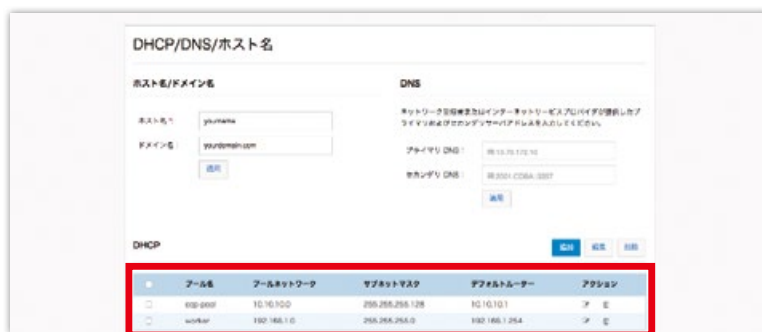


※ここで設定する DHCP アドレスからは CCP Express 3.1 の GUI へアクセスできません。

ステップ
3

DHCP 設定を確認します

「DHCP」欄に、作成した DHCP プールが作成されていることを確認してください。



DHCP 設定
完了!

- CCP Express 3.1 を利用したポリシー制御の設定は、ZBFW を利用します。
- ゾーンの設定に関しては、p18 を参照してください。
- アクセス リストを利用したアクセス制御を行うには、CLI による設定が必要です。

CCP Express 3.1

アプリケーション ファイアウォール設定ガイド

1 ゾーンの設定

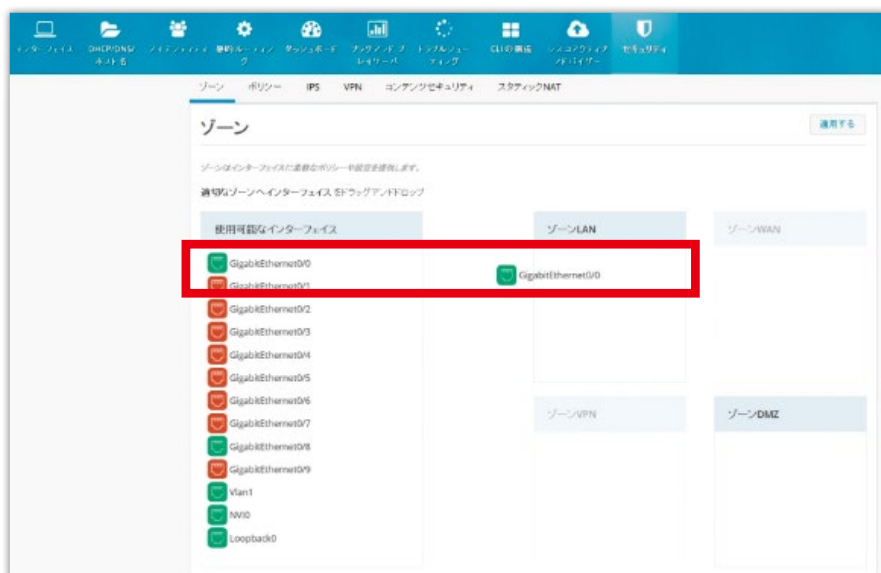
ステップ
1

ゾーン設定画面へアクセスします

CCP Express 3.1 のトップページで「セキュリティ」をクリックします。



「ゾーン」画面が表示されます。ここでは使用可能なインターフェイスをドラッグ＆ドロップでゾーン LAN、DMZ にあてはめることができます。



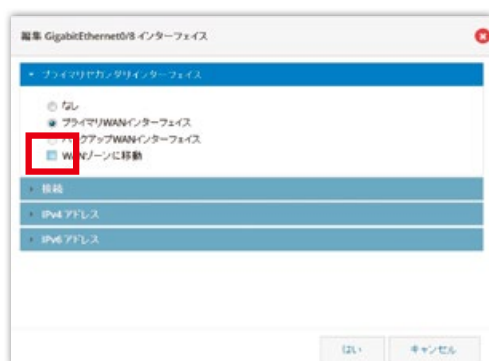
ステップ
2

ゾーン WAN のポートを設定します (オプション)

ゾーン WAN にインターフェイスが入っていない場合は、左上の「インターフェイス」ボタンをクリックしてから、WAN に使っているポートの「編集」ボタンをクリックしてください。



ポップアップした編集ボックスで「WAN ゾーンに移動」チェックボックスをオンにします。「はい」をクリックして、セキュリティ設定 (ゾーン設定) に戻ります。

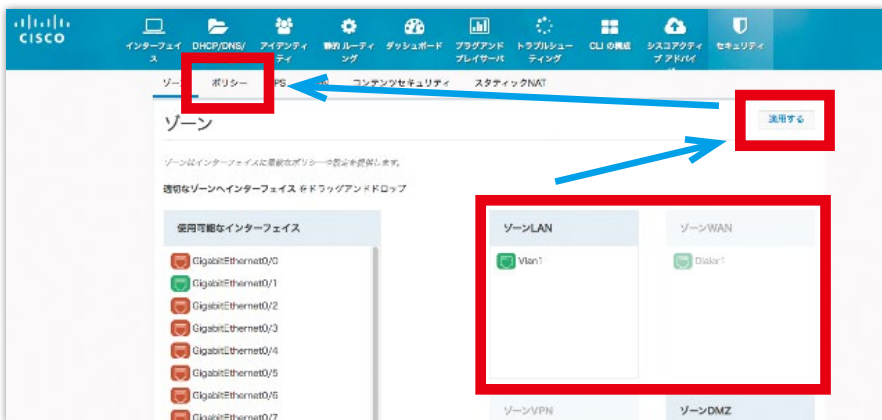


ステップ
3

ゾーン設定を行います

ここでは G0/8 ポートを「ゾーン WAN」に、Vlan1 を「ゾーン LAN」に設定して、「適用する」をクリックします。

ゾーンを設定した後、「ポリシー」タブをクリックします。



ステップ
4

ポリシーを設定します

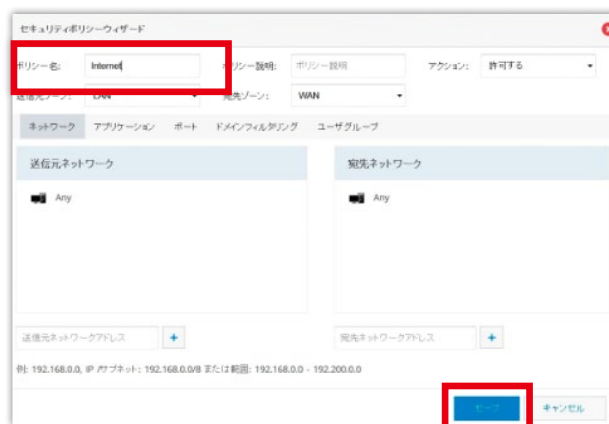
初期設定ではポリシーは設定されていません。

ポリシーに設定していないトラフィックはすべてドロップするので、ここではすべてのトラフィックを通す設定を追加します。

右上の「追加」ボタンをクリックします。



「セキュリティ ポリシー ウィザード」の画面が表示されたら、ポリシー名（ここでは Internet）を入力し、ほかはデフォルトのまま「セーブ」をクリックします。



ゾーン設定
完了!

2 アプリケーション ファイアウォールの設定

アプリケーション ファイアウォールを設定することで、指定したアプリケーションのアクセスをブロックできます。

- 1 「ポリシーの追加」から、新しくポリシーを作成します。
- 2 アクション欄で「ブロック」を選択します。
- 3 「アプリケーション」タブをクリックします。
- 4 「使用可能なアプリケーション」欄から、アクセスをブロックしたいアプリケーションを選択し、「選択されたアプリケーション」欄にドラッグ&ドロップします。
- 5 設定を終えたら「セーブ」をクリックして完了です。

The screenshot shows the 'セキュリティポリシーウィザード' (Security Policy Wizard) window. It is divided into several sections:

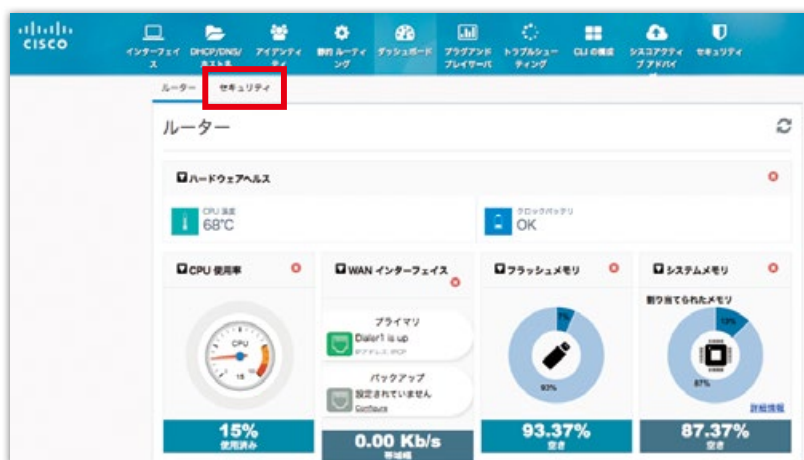
- Header:** 'セキュリティポリシーウィザード' with a close button.
- Policy Name:** 'access_block' (labeled 1).
- Policy Description:** 'ポリシー説明'.
- Action:** 'ブロック' (labeled 2).
- Source Zone:** 'LAN'.
- Destination Zone:** 'WAN'.
- Tabs:** 'ネットワーク', 'アプリケーション' (selected), 'ポート', 'ドメインフィルタリング', 'ユーザグループ'.
- Instruction:** '使用可能なアプリケーションから選択したアプリケーションへドラッグアンドドロップして下さい' (labeled 3).
- Application Lists:**
 - 使用可能なアプリケーション (Available Applications):** A list of applications including social-networking (blogger, google-plus, linkedin, picasa, twitter), email (bmp, esro-emsd, eudora-set, exchange, email), and others. A search bar is at the top.
 - 選択されたアプリケーション (Selected Applications):** A list containing 'facebook' (labeled 4).
- Drag & Drop:** A green box with the text 'ドラッグ & ドロップでアプリケーションを指定' (Specify applications by drag & drop) is positioned between the two lists.
- Buttons:** 'セーブ' (labeled 5) and 'キャンセル'.

3 アプリケーションの利用状況を確認

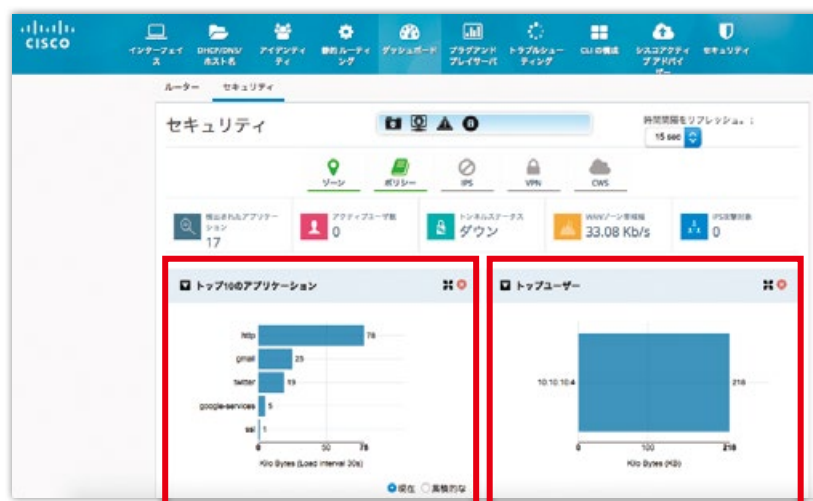
「ダッシュボード」タブをクリックします。



続いて「セキュリティ」タブをクリックします。



利用状況として、「トップ 10 のアプリケーション」と「トップ ユーザー」を視覚的に確認できます。



- ・ 現在：直近30秒
- ・ 累計的な：設定後の累計

お問い合わせ方法

電話または E メールにてお問い合わせください。

Cisco Start テクニカル サポート総合受付窓口

電話 **0120-092-255**

「ご希望の番号を選択してください」という自動音声ガイダンスの後、
電話機のプッシュ番号 3 番（製品 / サービスご購入後の技術的なサポートについてのお問い合わせ）を押します。
続いて 7 番（シスコ スタート）を押してください。
最後に 1 番（ルータ）を選択してください。

E メール **start-jp@cisco.com**

受付時間：平日 午前 9 時～午後 5 時（土日祝日は休み）

※時間外のお問い合わせは翌営業日の受付となります。

製品サポート期間：購入元にご確認ください。

ご返答までの目安：受付後、翌営業日までに担当エンジニアよりご連絡いたします。

※5 営業日を目安に復旧策 / 回避策をご提供いたします。

お問い合わせに必要な情報

お問い合わせの際には、以下の情報をご用意ください。

E メールでお問い合わせの際には、こちらのテキストと必要事項を記入して送信してください。

<ご担当者情報>

- ・ご担当者のお名前（漢字/ふりがな）：
- ・Cisco.com ID：
- ・会社名（漢字/ふりがな）：
- ・住所（漢字/ふりがな）：
- ・電話番号：
- ・FAX 番号：
- ・E メール アドレス：

<製品情報>

- ・シリアル番号：
- ・問題の内容：
- ・製品設置先住所（漢字/ふりがな）：
- ・サービス契約番号（お持ちの場合のみ）：

製品の交換について

・代替品配送までの時間：

担当エンジニアがハードウェアの交換を必要と判断した日の翌営業日に届くよう発送いたします。

・製品の返却方法：

製品配送の際に、障害パーツ / 製品の返却手順の案内書を同梱しております。

案内書をご確認いただき、障害品のご返却をお願いいたします。

・補足事項

- 1 代替品は関東地区のセンター デポより配送されます。交通事情や地域によっては、翌々営業日以降の到着となる場合があります。
- 2 ご提供いただいた情報に不備がある場合、代替品の到着が翌営業日以降になる場合があります。
- 3 障害品は代替品到着後 10 日以内にシスコにご返却ください。10 日を過ぎた場合、該当製品の定価の請求書がお客様に発行されます。
- 4 機器の修理は行っておりません。交換のみの対応となります。
- 5 初期不良に関しては、購入元の販売店へお問い合わせください。
- 6 本サポートのサービス レベルは Smart Foundation となります。

Smart Net Total Care サービス契約をご購入されたお客様は、テクニカル アシスタント センター（TAC）

電話：0120-608-802 E メール：japan-tac@cisco.com にお問い合わせください。

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。（1502R）

この資料の記載内容は 2015 年 12 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先